

平成28年10月5日

相生市議会議長  
三浦 隆利 様

会派名 緑風クラブ  
代表者名 前川 郁典

出張報告書

政務活動費により(視察)研修、要請・陳情活動、会議のため出張いたしましたので、下記のとおり報告します。

記

氏名	前川 郁典、吉田 政男、大川 孝之、阪口、正哉、田中 秀樹、森下 高明	
日程	平成28年 9月26日 から 9月28日 まで 3日間	
月日	視察、研修、要請・陳情活動、会議先	視察、研修、要請・陳情活動、会議項目
9・27	北海道留萌市議会	議会改革について 市民と議会の意見交換会について
9・28	北海道滝川市議会	滝川市公共施設マネジメントについて

旅費 ( 6 名分)	負担金 (名分)	合計 ( 6 名分)
497,208円	0円	497,208円



① 視察、研修、要請・陳情活動、会議の成果

1. 実施日 平成 28 年 9 月 27 日 (火)
2. 視察先 北海道留萌市議会  
北海道留萌市幸町 1 丁目 11 番地
3. 視察項目 議会改革について  
市民と議会の意見交換について
4. 視察者 緑風クラブ (前川郁典、吉田政男、大川孝之  
阪口正哉、田中秀樹、森下高明)
5. 留萌市議会出席者 野崎議長、燕議員、川村事務局長

6. 視察内容

留萌市は、「財政再生団体」に転落する危機に見舞われることとなり、給与の 20%カットなどを盛り込んだ「新・財政健全化計画」(平成 21～平成 27)を策定する中で議会改革においても「できることから実行する」を合言葉として議会改革に取り組んでいる。その中で平成 23 年 9 月に議会活性化推進特別委員会を設置 (全議員)～平成 26 年 2 月まで 44 回の協議を実施し、平成 26 年 6 月定例会において議会基本条例を制定 (平成 26 年 10 月施行) しており「市民にわかりやすく・開かれた」を強く意識し双方向型の「市民

と議会の意見交換会」を実施しております。実施方法としては、市内6地区のコミセンで平日午後6時30分からの時間帯で実施。

## 7. 所感

「意見交換会」についても良く工夫されておりますが、参加者が6地区で計54名と少なく今後の課題と感じました。相生市においてもこれから実施予定の議会報告会において同様の課題があるものと思いたします。周知方法・実施日時の設定等工夫が必要と感じました。2元代表制の中での議会の果たすべき役割、活性化は今後より大きな課題であり、全議員の取り組むべき最優先の課題であります。留萌市での「できることから実行する」を参考にし議会報告会に取り組んで行きたいと強く感じました。

以上

(資料等添付のこと)

④ 視察、研修、要請・陳情活動、会議の成果

1. 実施日 平成 28 年 9 月 2 8 日 (水)
2. 視察先 北海道滝川市議会  
北海道滝川市大町 1 - 2 - 5
3. 視察項目 滝川市公共施設マネジメントについて
4. 視察者 緑風クラブ (前川郁典、吉田政男、大川孝之  
阪口正哉、田中秀樹、森下高明)
5. 滝川市議会出席者 水口議長、村井事務局長、高橋説明員
6. 視察内容

滝川市は、人口減少・財政状況の見直しに取り組み「新滝川市活力再生プラン」(平成 21 年～23 年)を実施。その後、平成 24 年 11 月に『滝川市公共施設マネジメント方針』を決定し老朽化した公共施設の複合化・集約化を推進し必要な機能を保持しつつ、公共施設を可能な限り削減する方針で取り組んでおります。その中で特に市民会議及び市民への周知に力点を置き、市民会議では「市民対市民での話し合い」による徹底した議論を実施しこれまでの小さな自治会・町内会単位の活動とその拠点を学校区を単位とした 1 つに集約することで「つなぐ・ひきだす 公共施設マネジメント」政策

が実現できるのではないかとの考え方で新たなコミュニティ活動を実践する担い手団体をつくることに取り組んでおります。公共施設は、市民活動の拠点と捉え持続可能な公共施設マネジメントに取り組んでいる。

## 7. 所感

人口減少社会が到来する中で、行政サービスの変化が不可欠となっております。従来の公共施設の老朽化・行財政に及ぼす影響など相生市においても共通の大きな課題であります。行政だけでは限界があることは自明の理であり、市民の意識改革・住民自治の強化等滝川市がとりくんでいる事例は、相生市においても大いに参考になることであり先進事例として学んで行きたい。

以上

(資料等添付のこと)